

OECD, 特許の品質に関する論文を公表

2013年6月18日

JETRO デュッセルドルフ事務所

OECD (経済協力開発機構) の科学技術産業局は、6月6日、「特許の品質の測定 技術的・経済的価値の指標」(Measuring Patent Quality – Indicators of Technological and Economic Value) と題する論文 (Working Paper) を公表した。

本論文では、特許発明の技術的・経済的価値としての特許の品質を計測するための、13の指標が提案されている。また、これらの指標別に、欧州特許庁 (EPO) が提供する特許統計データ (PATSTAT) を用いて、EPO に 1990 年から 2009 年にかけて出願された特許出願を対象として、年代別、技術分野別、出願人の居住国別に分析した結果が示されている。

本論文で提案された 13 の指標は以下の通り。

Patent scope (特許の範囲)

Patent family size (パテント・ファミリー (外国出願) の数)

Grant lag (出願から特許付与までの期間)

Backward citations (引用された先行技術文献)

Citations to non-patent literature (先行技術文献として引用された非特許文献)

Claims (請求項数)

Forward citations (対象の特許出願を引用する特許出願数)

Breakthrough inventions (その後の技術的発展や新製品の基礎となるインパクトの高い発明)

Generality index (対象の特許出願を引用する特許出願が分布する技術分野)

Originality index (特許が依拠する技術分野の広さ)

Radicalness index (他の技術分野の特許文献が引用される度合い)

Patent renewal (特許権の維持期間)

Patent quality: composite index (上記の複数の指標を組み合わせた総合評価)

総合評価の指標においては、それぞれ異なる指標を組み合わせて 3 種類のデータが示されているが、いずれにおいても、南アフリカが第 1 位にランクされた一方で、日本やドイツは平均以下に位置付けられている。

— OECD の特許の品質に関する論文は、以下参照 —

[Measuring Patent Quality – Indicators of Technological and Economic Value](#)

(以上)